

4月27日：銀行セクターを中心に大型株が買われ、VN指数は続伸

投資家のリスク回避姿勢が後退し、この日は大型株を中心に買いが先行した。

ホーチミン市場のVN指数は0.93%（12.43ポイント）高の1,353.77ポイントで取引を終えた。

この日は値上がり銘柄数が値下がり銘柄数を大きく上回った。718銘柄が上昇し、195銘柄が下落した。また89銘柄がストップ高を、13銘柄がストップ安をつけた。

売買高は約5億2,000万株、売買代金は約14兆5,000億ドン（6億3,300万米ドル）となった。

VN30指数は0.37%高の1,402.03ポイントで取引を終えた。

同指数組み入れ銘柄のうち、4銘柄が上昇、5銘柄が下落、11銘柄は変わらずだった。

銀行セクターは、マーケットの上昇をけん引した。主な値上がり銘柄にはベトコムバンク（VCB）+1.24%、ベトナム投資開発銀行（BID）+0.81%、テクコムバンク（TCB）+0.24%、ヴィエティンバンク（CTG）+2.35%、軍隊商業銀行（MBB）+1.19%、ベトナム国際銀行（VIB）+1.7%、サイゴンハノイ銀行（SHB）+2.53%が含まれた。

製造業セクターも堅調な値動きとなった。ホアファットグループ（HPG）+3.16%、マサングループ（MSN）+2.59%、ベトナムゴム工業グループ（GVR）+2.11%、ビンソン石油精製化学（BSR）+6.44%などそれぞれ上昇した。

不動産セクターも多くの銘柄が買われた。同セクターでは164銘柄が上昇し、下落したのは35銘柄だった。

またビンググループ関連銘柄は、ビンググループ（VIC）とビンホームズ（VHM）が変わらずだった一方で、ビンコムリテール（VRE）が1.77%安と下落した。

ハノイ市場のHNX指数は3.45%（11.92ポイント）高の357.09ポイントで取引を終えた。

アナリストは、出来高が低調であるにもかかわらず、銀行銘柄を中心に幅広いセクターへの投資家の買い意欲が高まっている。このことはマーケットを刺激し、指数の上昇につながったと考えている。

外国人投資家はホーチミン、ハノイ両市場で合わせて2,501億ドンを売り越した。ホーチミン市場で2,532億3,000万ドンを売り越し、ハノイ市場では31億4,000万ドンを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。